

青少年いわて

2021 年 3 月発行 No.85



令和 2 年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール

令和 2 年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクールの入賞者表彰式を 11 月 15 日（日）に北上市のおでんせプラザぐろーぶ 3 階北上市生涯学習センター第 1 学習室で開催しました。

県内の小・中学校、高等学校から 138 点（児童の部 93 点・生徒の部 45 点）の作品の応募があり、10 月 26 日（月）に開催された選考委員会において、最優秀賞 2 点（児童の部 1 点・生徒の部 1 点）、優秀賞 3 点（児童の部 2 点・生徒の部 1 点）、優良賞 7 点（児童の部 5 点・生徒の部 2 点）が選出されました。さらに、今回は全ての作品の中から選考委員特別賞が 1 点選出されました。（入賞作品は 3 ページで紹介しています。）

応募作品は、10 月 1 日（木）から 18 日（日）まで、盛岡市のいわて県民情報交流センター（アイーナ）6 階のラウンジで、11 月 11 日（水）から 15 日（日）まで、北上市のおでんせプラザぐろーぶ 3 階の展示スペースで展示を行い、県内の多くの人に作品を観ていただき、「いわて家庭の日」を広く周知することができました。

「いわて家庭の日」の推進にご協力をお願いします。



盛岡展示



北上展示



優秀作品選考委員会



入賞者表彰式



入賞者表彰式

「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール

【寄稿】鎌田 英樹 県民会議副会長

矢巾町青少年健全育成町民会議活動紹介

青少年育成セミナー及び第 1 回相談事例検討会

情報メディア対応能力養成講座

第 4 回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

こどもの心をつかむわくわくワークショップ

…… P1・3 令和元年度岩手県青少年育成県民会議表彰

…… P2 日本善行会善行銅章受章 佐藤淳子さん

…… P2 青少年育成地域活動支援事業・青少年育成講師派遣事業

…… P4 令和 2 年度事業カレンダー

…… P4 いわて希望塾・番外編

…… P5 告知

…… P5

…… P6

…… P6

…… P6

…… P7

…… P8

…… P8

日本でもやっとワクチン接種が始まりましたが、今年度はコロナウイルスの影響で大きな変化の年になりました。多くの活動や人との接触が制限され、身近な家族との向き合いや家庭での時間が増えましたが、自分の命、大切な人の命に向き合うことも余儀なくされました。

中でもタレントの志村けんさんの感染死は、コロナウイルスの脅威が現実のものとなった衝撃的な出来事でした。かつて出演していたテレビ番組「8時だよ、全員集合」の映像と共に追悼のコメントが放送されましたが、この番組は日本PTA全国協議会から子供に見せたくない低俗番組として、毎年槍玉にあげられていたものです。今見返すと他愛のない内容だと思いますが、青少年を取り巻く社会や世相を反映した情報の有り様を改めて考える機会にもなりました。

今ではインターネットやスマホがすっかり普及して、いつでも、どこでも、誰でも、世界中の情報を手に入れ発信することも出来ますが、残念ながら情報が全て正しく安全だとは限りません。経験が乏し

く正しい判断に懸念がある青少年が、情報を鵜呑みにして犯罪や危険な状況に陥らないように、情報メディアの適切な利用と有害情報に触れられない環境づくりは、私たち大人の責任です。沢山の情報の中から公平公正で真実の情報を見抜く力、メディアリテラシー、情報モラル教育が大切です。

巣ごもりが続く視聴率もアップしましたが、IBCテレビでは「わが町ばんざい」「世界・ふしぎ発見」「日本のチカラ」「世界遺産」「炎の体育会TV」「東大王」など青少年に見てもらいたい6番組を選定し、青少年の知識や理解力を高め、情操を豊かにするための情報発信に努めています。長年に亘って培ってきた地域のテレビ、ラジオ、新聞の大きな信頼性は、インターネットと共存しながらますます重要性を増すものだと思います。

原稿提供

鎌田 英樹

公益社団法人岩手県青少年育成県民会議副会長

盛岡商工会議所副会頭／岩手県商工会議所連合会副会長

株式会社IBC岩手放送代表取締役社長



矢巾町青少年健全育成町民会議 活動紹介

1983年8月、次代を担う人達の健全育成を目的に矢巾町青少年健全育成町民会議が発足され、早38年の歳月が過ぎました。

その間、国際交流や著名人を招いての講演会・指導会など開き、町民の方々から頂いた会費を役立ててきました。そのほか、町内小中学校を中心に作文を募集してこども達の考えを広く町民に知って頂く活動も行っています。

(今年は、25年目にして高校生から論文の応募もありました)

特に今年度の場合、コロナ禍の中『何ができるか』真剣に考えるいい機会が与えられたと感じています。

次世代の青年の意見を聞くための会議を開いたり、人形劇の代わりに絵本などの購入補助に切り替えたり、今までの活動を再検討する意味でも事業検討委員会を立ち上げました。若者の意見と検討委員会で出された意見を集約しつつ『矢巾町の次代を担う人達を育むため手を尽くしたい!』そんな思いを持ちながらこれからもサステナブルな活動を繰り広げたいと考えております。

(原稿提供：矢巾町青少年健全育成町民会議)



絵本を受け取って嬉しそうな子ども達



ユース会議の様子

令和2年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール

入賞作品

児童の部
最優秀賞



**プールではあばや
おにいちゃんと泳いだよ**

洋野町立大野小学校 1年

松本 結希 さん

生徒の部
最優秀賞



たくさんの思い出

奥州市立江刺第一中学校 2年

及川 朋花 さん

選考委員特別賞



日曜日の家族

岩手県立杜陵高等学校 3年

古川 このみ さん

児童の部
優秀賞



新しい家族

奥州市立常盤小学校 5年

丸山 葉月 さん

児童の部
優秀賞



楽しい花火

北上市立江釣子小学校 5年

高橋 佳穂 さん

生徒の部
優秀賞



笑顔あふれる家族の時間

奥州市立江刺東中学校 2年

西岡 凜 さん

児童の部
優良賞



魚がつれたよ

盛岡市立見前小学校 2年

上森 心鈴 さん

児童の部
優良賞



**夏休みにいっとこ
花火をしたよ**

洋野町立大野小学校 1年

長根 悠希 さん

児童の部
優良賞



家族でいっしょにすごそう

北上市立黒沢尻北小学校 4年

赤平 悠真 さん

生徒の部
優良賞



楽しい家族

遠野市立遠野中学校 1年

多田 早嬉 さん

児童の部
優良賞



家族とお月見

北上市立江釣子小学校 5年

齋藤 翔磨 さん

児童の部
優良賞



うしのおせわ

奥州市立梁川小学校 2年

佐藤 星渚 さん

生徒の部
優良賞



午後3時

奥州市立水沢中学校 3年

佐藤 美良 さん

青少年育成セミナー及び第1回相談事例検討会

11月6日（金）いわて県民情報交流センター（アイーナ）

講師：鈴木 崇之 氏（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授）

11月6日（金）に東洋大学ライフデザイン学部教授の鈴木崇之先生に「児童虐待の現状と支援の課題」というタイトルで講演をいただきました。

最初に岩手県の児童虐待が毎年増加していること、子どもの前で配偶者に暴力をふるうなどの心理的虐待が多く、子どもと接している時間が長い実母からの虐待が一番多いことをデータをもとに紹介いただきました。また、面積が広い岩手県に児童相談所は3か所のみであり、緊急の対応が難しい場合もありうるとの指摘もありました。

途中でドキュメンタリー映像をまじえつつ、虐待の現状を知ることができました。虐待の早期発見と早期対応が大切で、一般の人の通告により児童相談所が対応をすることも多くあるということです。

最後に、市町村要保護児童対策地域協議会の設置状況や、保護者支援プログラム等について、虐待を未然に防ぐ様々な取り組みを紹介いただきました。

参加者からは、「実際の映像があり大変わかりやすい講演だった」、「もっと話を聞きたかった」という声を多数いただきました。



鈴木氏による講話の様子



当日の会場の様子

情報メディア対応能力養成講座

（沿岸）11月24日（火）陸前高田市コミュニティホール

（県南）12月3日（木）北上市生涯学習センター／（県央）12月10日（木）いわて県民情報交流センター（アイーナ）

青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の有害情報やネットを巡る問題、ネットトラブル、ネット依存など、青少年を取り巻く現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成することを目的に「令和2年度情報メディア対応能力養成講座」を県内3地域で開催しました。

なお、県北地域での開催は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況により中止とし、参加予定者へ後日資料を送付しました。

県央・沿岸の両地域では、県警本部より「インターネットを巡る青少年の犯罪被害の現状と課題」と題して事例の報告を行い、県立生涯学習推進センター職員を講師に「情報メディアとの上手な付き合い方」と題して講話と参加者による実機を使用しての体験を行いました。また、県南地域では、県警本部による事例報告の後、未来の風せいわ病院医師、鈴木りほ先生から「青少年をネット依存から守るために」と題して講演をしていただきました。講演では、ネット依存の概要や、ネットに夢中になりすぎること、脳の前頭前野の機能が低下し、理性と本能のバランスが崩れるために依存になるという医学的見地からネット依存のメカニズムについての説明の後、作業療法や心理療法など、せいわ病院が行っている治療プログラムと依存症患者と家族の関わり方について紹介していただきました。

県南地域で行った依存症に関する講座は、次年度以降、他の地域でも実施する予定です。



生涯学習推進センターの講座



県警本部からの事例報告



せいわ病院の鈴木医師

令和2年度第4回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

12月7日（月） いわて県民情報交流センター（アイーナ）

講師：奥野 雅子 氏（岩手大学人文社会科学部人間文化課程教授／こころの相談センター長）

12月7日（月）にアイーナ8階の804A会議室で令和2年度第4回「社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー」を開催しました。

「発達に特性のある子どもたちとのすてきな向き合い方」をテーマに全4回の連続講座を開催し、今回は今年度のまとめとして、岩手大学人文社会科学部教授であり、こころの相談センターのセンター長でもある、奥野雅子氏より、「発達に特性のある子どもと家族が進化するプロセス」と題して講演をしていただきました。

また、今回もこれまでの3回と同様に動画配信を行い、会場に来られない方に対してもリアルタイムで講演が視聴できるようにしました。

講演では、発達に特性のある子どもに対する「重度な障がいのある子ほど様々なことがわからないから苦悩がない」や「軽度な障がいは困らない」等といった誤解から、子どもの悩みや葛藤が理解できなくなっている。発達に特性のある子どもも定型発達と同じように思春期や反抗期、性的関心等を抱きながら成長する。それらのことを家族が課題として捉え、子どもの成長に合わせて家族の対応も進化する必要がある、と実例を交えながらお話してくださいました。

参加者からは「勉強になった」や「職場でも活用したい」等の感想が寄せられました。



講師の奥野氏



当日の会場の様子

こどもの心をつかむわくわくワークショップ

1月31日（日） さくらホール 小ホール（北上市）

講師：第1部 くぼたまさと 氏 / 第2部 及川 未希生 氏（盛岡大学短期大学部幼児教育科）

1月31日（日）に北上市で、子どもとの活動に興味のある方々を対象にワークショップを開催しました。講師は、NHKのテレビ番組「つくってあそび」でわくわくさんを演じたくぼたまさとさんと、盛岡大学短期大学部の及川未希生先生にお願いしました。参加者は10代から70代と幅広く、沿岸からも参加があり、新型コロナウイルス感染症対策を行った上での開催となりました。



第1部講師のくぼた氏

第1部は、くぼたまさとさんによる牛乳パックを使った工作で、牛乳パックを切る時のポイントや、子どもに教える時の注意点など、細やかに教えてもらいながら、コマやボール、けん玉を作り、最後は少し難しいロケットも作りました。くぼたさんの工作は、家にある物で作れる物がほとんどで、材料を余すことなく使うのでゴミもほとんど出ず、出来栄より親子で一緒に楽しく作る過程が大切と何度も話されていました。



第1部の会場の様子

第2部は、及川未希生先生にコロナ禍の中できるアイスブレイキング（初対面の人同士が出会う場面で、その緊張をときほぐすための手法）を教えてもらいました。距離を取りながら、子どもだけでなく大人も楽しんでできる内容のものをいくつか実践し、短い時間で参加者同士が打ち解けることができました。

参加者からは、「二つの異なる視点、内容によるワークショップで、最後まで楽しく参加できた」、「様々な場面で活用してみたい」などの感想が寄せられました。



第2部の会場の様子

令和元年度岩手県青少年育成県民会議表彰受賞者・受賞団体 活動紹介

青少年育成指導者：

齊藤 祐子 氏（日本ボーイスカウト岩手連盟）



平成4年から現在まで 28 年にわたり指導者としてボーイスカウト活動に積極的に携わり、青少年の健全育成を長年熱心に行っています。

現在は盛岡第 12 団において、ビーバー隊長・カブ隊長として年少隊の活動に取り組むほか、組織拡充、さらにスカウトの増加にも先導的に取り組み、地区においても活動の中心的役割を果たしています。

具体的な活動としては、「遊びの広場」や「雪中キャンプ」などに指導者として積極的に取り組み、「防災キャラバン」では、防災に役立つプログラムの紹介などに取り組んでいます。また、各野営大会等にも参加し円滑な運営に寄与しています。

青少年育成活動団体：

大川郷土芸能保存会 長田剣舞



昭和 49 年に結成されて以来、45 年間の長きにわたり、少年の健全育成に尽力しています。昭和 56 年には「岩泉町指定無形文化財」として登録され、さらに、平成8年に大川郷土芸能愛護少年団が結成されたことがきっかけで地域の子供達へ剣舞の指導を行っています。

具体的な活動としては、小学校の授業の一環として運動会や学習発表会等で剣舞を披露しており、毎年、お盆の8月16日には岩泉町内のお寺（大川寺）や神社ほか、岩泉町郷土芸能祭といった地域の催し等でも剣舞を披露しています。

同団体は、剣舞の練習を通じて子ども達の郷土芸能や文化に対する理解を深め、創造性や豊かな人間性の涵養にも大きな役割を果たしています。

秋季善行表彰 善行銅章受章 佐藤 淳子 さん

この度、一般社団法人日本善行会主催の秋季善行表彰において、県民会議が推薦をした佐藤淳子さん善行銅章を受章しました。

12 月に県民会議事務局を訪れた佐藤さんは、銅章受章を平井県民会議会長に報告しました。

佐藤さんは、紫波町で少年補導員として 2002 年から活動し、見回り活動やあいさつ運動など、長年青少年の健全育成活動に積極的に取り組んできたことが認められ今回の受章となりました。他にも、佐藤さんは東日本大震災の復興ボランティアとして活動されています。



佐藤 淳子 さん



受章の報告をする佐藤さん

令和 2 年度青少年育成地域活動支援事業助成・青少年育成講師派遣事業

青少年育成地域活動支援事業 助成金交付事業

団体名	事業名
山田愛信館柔道スポーツ少年団	チャレンジ・ザ・オランダ島
何でもやろう会	「チャレンジ塾」～Do it myself～
小軽米小学校 PTA	米作り体験・食育事業
特定非営利活動法人未来図書館	中学生と大人の学びあいプログラム実施事業
特定非営利活動法人盛岡ユースセンター	不登校理解支援事業

※令和 3 年度の助成金の募集情報については、本紙 8 ページに掲載しています。



チャレンジ・ザ・オランダ島



米作り体験・食育事業

青少年育成講師派遣事業

団体名	事業名	派遣講師
宮古市立田老第一小学校	家庭教育学級	高館 美保子 氏 (特定非営利活動法人いわてパノラマ福祉館理事長)
北上市黒沢尻北地区民生委員児童委員協議会	黒沢尻北民生員協議会研修会	山屋 理恵 氏 (特定非営利活動法人インクルいわて理事長)

青少年活動交流センター／岩手県青少年育成県民会議 令和2年度事業カレンダー

通常総会

6/17 (水)

通常総会を開催しました。今回はコロナ感染拡大防止の観点から、県民会議表彰式を中止にする等規模を縮小して実施しました。

青少年を非行・被害から守る県民大会

7/15 (水)

青少年の非行・被害防止運動の推進を目的とした県民大会を開催しました。開催の様子を動画配信して、一定期間公開しました。

観武が原まつり

9/6 (日)

ボランティアと一緒に、ハーバリウム制作が体験できるコーナーを出し、18組の方に制作体験をしていただきました。

わたしの主張岩手県大会

第9/16回(水)会

県内の地区大会から選出された代表者16名が未来に向けた夢や希望、日常の中で感じることなど、それぞれの思いを発表しました。

第1回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

9/27 (日)

発達に特性のある子どもの成長に有効的である、「ペアレントトレーニング」に関する講演会を開催しました。

第7回いわて親子フェスティバル in アイーナ

10/4 (日)

「アイーナで一日中遊ぶ」をテーマに親子で楽しめるフェスティバルをボランティアと一緒に開催しました。

第2回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

10/11 (日)

「ペアレントトレーニング」のポイントについて2回にわけて行う実践形式の体験講座の内、前半のセッションについて学びました。

第3回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

10/25 (日)

「ペアレントトレーニング」のポイントについて2回にわけて行う実践形式の体験講座の内、後半のセッションについて学びました。

青少年育成セミナー及び第1回相談事例検討会(研修会)

11/6 (金)

青少年育成関係者や県内の相談機関職員を対象に、「児童虐待の現状と支援の課題」について、講演会を開催しました。

「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール入賞者表彰式

11/15 (日)

「いわて家庭の日」普及・啓発のため開催された絵画コンクールの入賞者に対する表彰を行い、賞状と記念品を授与しました。

情報メディア対応能力養成講座(沿岸地域)

11/24 (火)

沿岸地域の青少年育成関係者を対象に青少年のネット・スマホについて理解を深めるための講座を開催しました。

情報メディア対応能力養成講座(県南地域)

12/3 (木)

県南地域の青少年育成関係者を対象に青少年のネット・スマホ、特にネット依存について理解を深めるための講座を開催しました。

第4回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

12/7 (月)

発達に特性のある子どもの成長について理解を深めるために専門家を講師に招き、講演会を開催しました。

情報メディア対応能力養成講座(県央地域)

12/10 (木)

県央地域の青少年育成関係者を対象に青少年のネット・スマホについて理解を深めるための講座を開催しました。

子どもの心をつかむわくわくワークショップ

1/31 (日)

子どもとの活動に興味のある方を対象に工作のワークショップやアイスブレイク講座を開催しました。

第2回相談事例検討会

2/10 (火)

青少年の相談事業に関わる人を対象に、相談スキルの向上を目的とした研修会を開催しました。

通年実施事業：

「いわて家庭の日」普及拡大
情報メディア「出前」講座
青少年育成地域活動支援事業
青少年育成講師派遣事業
青少年なやみ相談室
ボランティア活動の促進

制作：

「第22回わたしの主張岩手県大会」発表文集
「いわて希望塾・番外編」入賞作品集
「いわて家庭の日」令和3年度カレンダー
「いわて家庭の日」啓発用のぼり旗
「青少年なやみ相談室」PRポスター
各種啓発用エコバッグ、クリアファイル

情報発信(広報紙・SNS・ホームページ)：

広報紙

- ▷「青少年いわて」(2回発行：11月／3月)
- ▷「いわて家庭の日」カレンダー(月1回)
- ▷アイーナインフォメーション(月1回)

SNS(不定期更新)

- ▷Twitter
- ▷Facebook
- ▷LINE

ホームページ(不定期更新)

- ▷青少年活動交流センター
(<http://www.aiina.jp/seishounen/index.html>)
- ▷岩手県青少年育成県民会議
(<http://www.ipayd.server-shared.com/>)

いわて希望塾・番外編～ 「わたしの一押し・わたしが思う未来のいわて」

令和2年12月23日、アイーナにて、いわて希望塾・番外編～「わたしの一押し・わたしが思う未来のいわて」つづき募集に係る優秀作品選考委員会において優秀作品を選考いたしました。

このいわて希望塾・番外編つづき募集（令和2年10月～12月募集）とは、例年実施していた「いわて希望塾」（体験活動や交流活動を通じ、岩手の「地域づくり」を担う、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的）が、今般の感染症拡大により、宿泊・交流事業を中止とし、岩手の良さや、将来の明るい未来について、考えを深めるきっかけとなるよう、番外編として「わたしの一押し・わたしが思う未来のいわて」つづきを募集いたしました。

岩手県内の中学生及び支援学校中学部生徒のみなさんから、407作品の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

優秀作品については、青少年活動交流センターのHPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.aiina.jp/seishounen/news/news-r2-kiboujuku-yushusakuhin.html>



相談時間（電話・面談）
9:00～16:00
（月・木のみ 9:00～20:00）

メール受付時間（24時間）

✉ nayami@aiina.jp

QRコード



正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員 会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。
2. 協賛企業 県民会議HPバナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

3. 会 費



個人会員	正会員	3千円/年
	賛助会員	12千円/一口
団体（法人）会員	正会員	6千円/年
	賛助会員	25千円/一口

4. その他 お問合せ・お申込みについては、県民会議（019-681-9077）までご連絡ください。

情報
発信中



@ya_center



@yacaiina



@vzi4606t



センター HP : <http://www.aiina.jp/seishounen/index.html>

県民会議 HP : <http://www.ipayd.server-shared.com/>

毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」



岩手県青少年育成県民会議では、
青少年を守り育てる運動として

『いわて家庭の日』

を主唱しています。

推進協力 岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部

青少年育成地域活動支援事業助成

対象団体 青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、青少年団体・グループ、PTAその他の団体

対象事業 青少年の健全育成を目的とする体験・交流・実践活動や、家庭や地域における青少年の育成をテーマとする研修会・講演会等の活動で、10人以上の参加者により開催されるもの。

募集期間 **2021年4月1日（木）～5月31日（月）**

助成金額 **1件あたり5万円**を上限とし、予算の範囲内で交付します。

そ の 他 申請方法等、詳細についてはホームページで随時お知らせしていきます。